



## 平成 26 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 8 月 12 日

上場会社名 日東精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5957 URL <http://www.nittoseiko.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 材木 正己  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 小林 善朗 (TEL) 0773(42)3111  
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 8 月 12 日 配当支払開始予定日 平成 26 年 9 月 12 日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 12 月期第 2 四半期	13,195	9.7	1,515	21.8	1,613	19.7	914	18.8
25 年 12 月期第 2 四半期	12,030	△ 3.7	1,244	16.3	1,348	20.0	769	26.6

(注) 包括利益 26 年 12 月期第 2 四半期 830 百万円 (△37.5%) 25 年 12 月期第 2 四半期 1,330 百万円 (87.1%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26 年 12 月期第 2 四半期	23	99	—	—
25 年 12 月期第 2 四半期	20	18	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26 年 12 月期第 2 四半期	35,244		22,438		59.2	
25 年 12 月期	34,407		21,861		58.7	

(参考) 自己資本 26 年 12 月期第 2 四半期 20,861 百万円 25 年 12 月期 20,195 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金								
	第 1 四半期末		第 2 四半期末		第 3 四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
25 年 12 月期	—	—	4	00	—	4	00	8	00
26 年 12 月期	—	—	4	00	—	—	—	—	—
26 年 12 月期(予想)	—	—	—	—	—	4	00	8	00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

### 3. 平成 26 年 12 月期の連結業績予想 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	25,600	7.3	2,560	10.7	2,690	7.7	1,570	11.0	41	20

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	39,985,017株	25年12月期	39,985,017株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	1,880,666株	25年12月期	1,873,931株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	38,109,739株	25年12月期2Q	38,125,685株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策により、消費税増税による影響も想定内に止まり、企業業績の改善や雇用情勢の持ち直しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、欧米諸国の財政問題や新興国経済の減速などの景気下振れリスクは払拭されず、外交的不安要因も現存する中、引き続き先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループは、最終年度を迎えた中期計画「日東パワーアッププランⅡ」の完遂を企図し、グローバルな事業展開を加速させる中、新製品開発、新市場開拓、既存製品の高品質化・高付加価値化などの重点方策を推進し業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は131億9千5百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は15億1千5百万円（前年同期比21.8%増）、経常利益は16億1千3百万円（前年同期比19.7%増）、四半期純利益は9億1千4百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

## &lt;ファスナー事業&gt;

当事業につきましては、アジア市場を中心に海外市場は堅調に推移したものの、国内市場は引き続き低迷し、加えて、原材料価格の高騰、電気料金、燃料価格の上昇、競合先との競争激化など、収益環境は極めて厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、海外における生産・供給体制の強化を推し進め、国内では、自動化・省力化や省エネ投資と併せて徹底したコストダウン対策を実行し、同時に、炭素繊維強化樹脂用セルフタッピンねじ「CFタイト」などの新製品の市場投入や環境関連などの重点市場への提案営業活動を推進しました。

この結果、売上高は82億7百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は3億円（前年同期比33.5%減）となりました。

## &lt;産機事業&gt;

当事業につきましては、国内市場では、自動車関連業界、ガス関連業界など主な需要先の設備需要が、一部に更新需要はあるものの低調に推移しました。一方、需要先の海外生産が拡大する中、北米市場およびアジア市場では自動車関連業界の設備需要が増大し、アジア市場では、ねじ締めロボットなどの標準機種製品が伸長し、北米市場では、自動組立ラインが好調に推移しました。

この結果、売上高は37億8百万円（前年同期比43.0%増）、営業利益は10億2千5百万円（前年同期比96.1%増）となりました。

## &lt;制御事業&gt;

当事業につきましては、主力製品である流量計は、国内市場では、化学・薬品業界など主な需要先の設備需要が低迷し、海外市場では、海洋資源開発の活性化を背景に造船業界からの需要が増加しました。また、システム製品群では、昨年度の大受注の反動はあるものの、「マイクロバブル洗浄装置」、部品検査選別装置は、市場の関心度も高く順調に推移し、一方、地盤調査機「ジオカルテ」は、消費税増税前の駆け込み需要の反動を受け、期を通して厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は12億7千9百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は1億8千8百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、未収入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ8億3千6百万円増加し、352億4千4百万円となりました。

また、負債は、未払法人税等の増加などにより、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円増加し、128億6百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5億7千6百万円増加し、224億3千8百万円となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、概ね予想の範囲内で推移しており、平成26年2月13日に公表した平成26年12月期の通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,369,257	5,398,804
受取手形及び売掛金	6,901,689	7,049,318
商品及び製品	1,349,193	1,438,675
仕掛品	1,752,717	1,604,807
原材料及び貯蔵品	1,363,783	1,362,201
繰延税金資産	99,706	114,157
未収入金	1,457,365	1,917,518
その他	87,334	87,775
貸倒引当金	△3,959	△3,834
流動資産合計	18,377,089	18,969,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,268,687	2,344,227
機械装置及び運搬具(純額)	1,424,245	1,532,138
土地	4,072,757	4,063,697
建設仮勘定	542,813	467,753
その他(純額)	262,969	264,955
有形固定資産合計	8,571,474	8,672,772
無形固定資産		
ソフトウェア	33,711	55,840
その他	13,307	12,224
無形固定資産合計	47,019	68,064
投資その他の資産		
投資有価証券	1,378,066	1,465,276
長期貸付金	2,043	5,799
繰延税金資産	585,638	551,907
長期預金	4,491,000	4,491,000
その他	956,489	1,020,811
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	7,412,237	7,533,795
固定資産合計	16,030,731	16,274,632
資産合計	34,407,820	35,244,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,468,591	3,410,857
短期借入金	3,293,713	3,238,410
未払金	2,157,833	2,078,013
未払法人税等	438,578	569,298
賞与引当金	160,032	145,483
その他	856,441	1,252,655
流動負債合計	10,375,190	10,694,718
固定負債		
長期借入金	181,350	171,900
退職給付引当金	1,752,841	1,695,261
役員退職引当金	103,300	115,100
その他	133,419	129,037
固定負債合計	2,170,910	2,111,299
負債合計	12,546,101	12,806,018
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,518,891	2,518,891
利益剰余金	14,760,796	15,521,792
自己株式	△468,468	△470,691
株主資本合計	20,333,798	21,092,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,994	155,360
為替換算調整勘定	△307,636	△386,535
その他の包括利益累計額合計	△138,641	△231,174
少数株主持分	1,666,561	1,576,639
純資産合計	21,861,719	22,438,037
負債純資産合計	34,407,820	35,244,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,030,203	13,195,655
売上原価	8,920,971	9,699,495
売上総利益	3,109,231	3,496,159
販売費及び一般管理費	1,865,164	1,980,888
営業利益	1,244,066	1,515,270
営業外収益		
受取利息	15,153	19,022
受取配当金	12,671	6,118
受取賃貸料	32,667	34,072
為替差益	43,462	4,760
持分法による投資利益	16,252	23,089
その他	37,843	58,297
営業外収益合計	158,049	145,360
営業外費用		
支払利息	21,234	18,166
賃貸収入原価	22,120	19,723
その他	10,254	9,136
営業外費用合計	53,609	47,026
経常利益	1,348,507	1,613,604
特別利益		
固定資産売却益	801	125
特別利益合計	801	125
特別損失		
固定資産処分損	3,681	1,062
特別損失合計	3,681	1,062
税金等調整前四半期純利益	1,345,627	1,612,666
法人税、住民税及び事業税	432,181	589,093
法人税等調整額	55,005	27,678
法人税等合計	487,187	616,771
少数株主損益調整前四半期純利益	858,440	995,895
少数株主利益	89,211	81,668
四半期純利益	769,229	914,226



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	858,440	995,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,827	△11,435
為替換算調整勘定	396,287	△158,667
持分法適用会社に対する持分相当額	33,775	5,034
その他の包括利益合計	471,889	△165,068
四半期包括利益	1,330,330	830,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,079,012	821,693
少数株主に係る四半期包括利益	251,317	9,132

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,345,627	1,612,666
減価償却費	278,484	326,698
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,335	△11,357
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△45,901	△57,088
受取利息及び受取配当金	△27,824	△25,141
支払利息	21,234	18,166
持分法による投資損益(△は益)	△16,252	△23,089
固定資産処分損益(△は益)	3,681	1,062
固定資産売却損益(△は益)	△801	△125
売上債権の増減額(△は増加)	△403,726	△181,523
たな卸資産の増減額(△は増加)	△126,802	42,846
仕入債務の増減額(△は減少)	191,589	△47,715
未払消費税等の増減額(△は減少)	△54,036	95,442
未払費用の増減額(△は減少)	430,276	393,213
その他	△74,608	△580,301
小計	1,505,604	1,563,755
利息及び配当金の受取額	29,293	27,426
利息の支払額	△20,766	△18,649
法人税等の支払額	△614,990	△456,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	899,141	1,115,650
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△174,467	△5,319
定期預金の払戻による収入	1,812,367	75,769
有形固定資産の取得による支出	△372,068	△559,044
有形固定資産の売却による収入	1,397	2,812
投資有価証券の取得による支出	△96,111	△83,389
投資有価証券の売却による収入	862	—
関係会社株式の取得による支出	△3,750	△595
貸付けによる支出	△2,904	△6,244
貸付金の回収による収入	1,881	2,464
長期預金の預入による支出	△1,700,000	—
その他	△17,003	△35,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△549,795	△609,329

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	35,939	14,856
長期借入金の返済による支出	△96,672	△79,000
自己株式の売却による収入	39	—
自己株式の取得による支出	△2,498	△1,247
配当金の支払額	△191,592	△153,230
少数株主への配当金の支払額	△59,824	△99,054
その他	△5,794	△5,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320,402	△323,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	193,008	△78,993
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	221,951	103,844
現金及び現金同等物の期首残高	4,216,775	4,633,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,438,726	4,737,099

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,056,184	2,592,499	1,381,519	12,030,203	12,030,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,056,184	2,592,499	1,381,519	12,030,203	12,030,203
セグメント利益	452,099	522,980	268,986	1,244,066	1,244,066

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,207,420	3,708,384	1,279,850	13,195,655	13,195,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,207,420	3,708,384	1,279,850	13,195,655	13,195,655
セグメント利益	300,802	1,025,815	188,652	1,515,270	1,515,270

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。